

農業における激突され災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	9~10	外構工事施工中、駐車場の整地を小型重機で作業している所、重機の送行に支障がある道具をどけようとした際、重機がバックして来て、右足甲を踏まれ倒れた際、右足首を骨折した。（当日のみ応援で現場に行ったものである。）	44	—
2	9~10	誤って左親指に切枝が当たり骨折した。	48	—
3	12~13	牧場内の分娩房にて牛を捕獲する作業時に、牛が腹部に突進して来たため、分娩房の扉の鉄のバーを背に挟まれ、腹部を圧迫し、腎臓を破裂損傷した。	48	1~9
6	10~11	軟白ネギハウス内で杭打ちをしていたところ、誤って杭を押さえていた右手人差し指を金槌で打ちつけた。	25	1~9
6	16~17	圃場でもみがら詰め作業をしていた際、使用していたバネコン（重量約25kg、もみを電動で搬送するホース）を他の場所に移動しようとしたところ、誤って左手に落としてしまった。左手首・指2本骨折、じん帯損傷と診断された。	35	1~9
9	12~13	会社の駐車場にて、他の従業員が車の荷台に乗っていた道具を降ろしドアを閉めていた時に、丁度被災者がその車の荷台にあった他の道具を降ろそうとして、ドアが頭に当たってしまった、その時に、腕をついて尻もちをついた。	35	10~29
10	11~12	台風による倒木を処理するに当たり、クレーンの届かない位置に倒木があり、チルホールによる伐採工事となった。チルホール2台による伐採工事を行うが、伐採した木が地面にて粉碎した。粉碎した大きい枝が作業員の肩に当たった。チルホール2台により倒れる方向を計算するも、粉碎した部位まで推測できなかった為。	52	1~9

10	11~ 12	事業所精米施設内で、エアーコンプレッサーからの圧縮空気ホースの差し替えをしていたとき、空気圧が下がりきってなかったため、ホースが跳ねとび、右目に当たった。	64	10 ~ 29
11	9~ 10	駐車場の法面で樹木伐採作業中に、切った樹木の幹が倒れてきて体の横腹辺りに当たり、その際転倒した。	56	1 ~ 9
11	10~ 11	事業場で畑の土をユンボでトラックに積み込む作業を行っていて、土に交じった雑草を取り除いている作業をしていたところ、アームが旋回してバケットが前頭部に当たり負傷した。	75	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html